

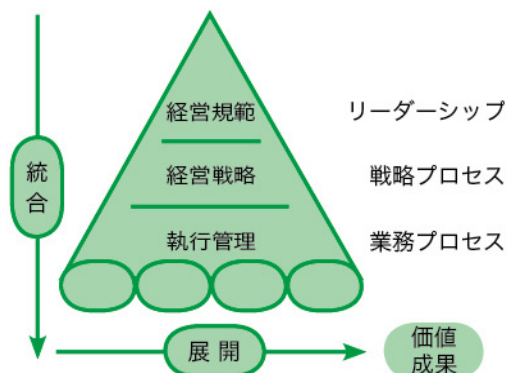
Assessment Basic 経営評価の基礎コース

経営知識を体系的に身につけ、その知識を活用して
経営課題を発見する力を身につける。

■この研修プログラムのねらい■

この研修では、①経営知識を体系的に身につける、②身につけた経営知識を活用して経営課題を考える力を身につける、ということを目指しています。経営知識を体系的に身につけるといふ目的から、充実のテキスト*でしっかり学習します。また、ご自身の組織やケースをもとに、経営課題について深く考える演習に取り組んでいきます。

*A5版400ページ超の充実した専用テキストに経営知識が体系的にまとめられています。



「経営評価の基礎コース」3日間 (週1回×3)

- 会場： 9月 1日 水産会館 5F 大会議室
8日 勤労者福祉会館 6F 研修室
15日 勤労者福祉会館 6F 研修室

■ 講師：経営品質協議会 インストラクター

■ 定員：36名

■ 参加費用 (教材費・昼食費を含みます。)

三重県経営品質協議会会員 136,500円

生産性本部賛助会員 152,250円

一般 168,000円

* 教材には「アセスメント基準書」「アセスメントガイドブック」が含まれます。

■ 2009年度開催日程

第1回 9月 1日 (火) 10:00~17:30

8日 (火) 10:00~17:30

15日 (火) 10:00~17:50

* 3日間で1つの研修です。他地域での回に組みかえることはできません。

* 3日目に「経営革新の基礎コース」「経営評価の基礎コース」範囲から出題する「簡易版チェックテスト」を実施します。(合格が次の「セルフアセスメントコース」ご受講の要件となります。)

* お申込人数が10名に満たない場合、開催を中止させていただきます。ご了承ください。

3日間のプログラム (予定)

1 日 目	10:00 17:30	(事前課題あり) ■ 経営を理解する ■ 経営革新とは ■ 組織プロフィールに関する知識 ● ケース演習 (宿題)
2 日 目	10:00 17:30	■ 顧客・市場の理解と対応 ■ 戦略の策定と展開 ● グループ演習 ■ 経営幹部のリーダーシップ ■ 経営における社会的責任 (宿題)
3 日 目	10:00 17:50	■ 個人と組織の能力向上 ■ 顧客価値創造のプロセス ● グループ演習 ■ 情報マネジメント ■ 活動結果 (財務成果とプロセス) ● ケース演習 ■ 簡易版チェックテスト

～経営評価の基礎コース 教材より～

「経営評価の基礎コース」の目的は、経営革新の枠組みを示した「経営品質向上プログラム」のアセスメント基準を理解するための経営知識とその活用を学習することです。経営知識とは単に経営の断片要素の集合でなく、経営革新を進める際に知識がどういう意味を持つかの体系としての知識 (Body of Knowledge) を意味します。

従って、このコースのテキスト「経営評価の基礎知識」は、日本経営品質賞アセスメント基準の体系に準拠した形で、経営革新のプロセスに必要な経営知識を整理したものです。日本経営品質賞では、経営に特定の方法論を推奨するものではないという考えを基本としています。それは、組織はそれぞれユニーク (独自性がある) なもので、そこでの方法論はこれを用いるべきといった画一的な方法論にはならないということを意味しています。しかし、経営を具体的にを行うことは、その行動に何らかの方法論が必要になります。そして企業が用いる方法論は、何も無いところからそれぞれの企業が自分で創り上げるものでもありません。これまでの長い経営の経験と学習の中で体系化された知識を基盤として、実践経験を背景に創意工夫されたものでなければなりません。

そうであるならば、経営品質向上プログラムの考えで経営革新を進める上で、必要な知識を体系的に学習することで、幅広い知識を身につけ、より実践の工夫を促進できるのではないかと考えています。こうした趣旨で体系化し、その知識をどう活用するかを自らの経営に当てはめながら学ぶのが、「経営評価の基礎コース」と位置づけています。



経営評価の基礎コース
テキスト全416ページ